

## 大草谷津田いきものの里 自然観察会

### かくれんぼしている虫をさがそう

松本美千代（千葉市）

日時：2012年2月19日（日）10時30分～12時 天候：晴れ

参加者：12名（大人8名 子ども4名）

担当指導員：田井中信子 松本美千代

前々日（17日）の下見は雪が降った後だった。日の当った入口広場の土から白い湯気が出ていたが、日陰にあるベンチやテーブルは白く雪が積っていた。林の中は木に積った雪が解け、雨のようにポタポタ落ちてきていた。広場は晴れ、こちらは雨状態。街中ではこういう経験はできないのでは、と話しながら二人ともカッパを着て歩いた。晴天もよいが、雪も雨降りも楽しい大草である。湿地の水溜りにニホンアカガエルの卵塊調査（一つの卵塊に調査日ごとに色の違うビニールテープを張った竹竿をたてる）がしてあった。赤1本（2/9日）、緑3本（2/16日）、寒さの影響か？ 今年は卵塊を見るのが遅いし、とても少ない。18日も雪景色。

当日（19日）は風もなくよい天気だったが、朝は冷え込み、トイレや広場の水道が凍って水が出なくなっていた。山岸さんが湧き水を汲んできてトイレを使えるようにしてくれていた。感謝。立春を迎えたけれど、このように寒い日が続いている。虫たちはいろんな姿で（卵、卵嚢、幼虫、サナギ、成虫）いろんな場所で暖かな春を待っている（越冬）。このがんばっている姿を参加者に探して貰える様に、下見などで見られた虫の姿と隠れ場所を記入した冊子を渡す。まだまだ寒いので、落ち葉・枯れ草・土などを搔き分けたら元に戻すように、最初にお願いする。（牛乳パックで作ったシャベルで掘ったりする）

#### ●結果

かくれんぼしている場所	みつけたよ
広場 枝や幹	ハラビロカマキリ卵嚢6・コカマキリ卵嚢・ミノムシ (ハートのかめむし) エサキモンキツノカムシ
土手の土の中	?サナギ
枯れ草の中	ダンゴムシ・アリ・?スズメガのサナギ
カシやツタの葉の表や裏	ウラギンシジミはみられず写真と話のみ
杉林 樹皮	ツヅミミノムシ・クロウリハムシ・ヤニサシガメ幼虫
こも コナラ	ワラの上にクサカゲロウ・中にミヤマカムシ3・ヤスデ3 ちいさな?クモ11・ヘラクヌギカムシの卵塊多・ アオズムカデ・カタツムリ・ヒメカメノコテントウ ちいさな?クモ12・ナミテントウ13・キハダエビグモ
イヌシデ	チョウセンカマキリ卵嚢多・ヨコズナサシガメ幼虫数
田んぼ脇の斜面林	ササグモ幼生数・徘徊性のクモ・ヒシバッタ・ハネナガヒ
休耕田	シバッタ・ナナホシテントウ・コカマキリ卵嚢2

オオイヌノフグリの咲く、日当りの良い休耕田で見つけた虫をチェックする。感想を聞いて観察会を終える。子ども達に見せたいとハートのカムシや見つけられなかつたがウラギンシジミ・ニコニコちゃんを探しにかくれんぼに参加してくれた大人の参加者に感謝！